

調査機関の概要(中間報告版)

番号	機関名	国名	一言説明	人数			予算		計量標準の供給(/年)	
				総人員	研究者	エンジニア	予算	手数料収入	校正サービ	標準物質
1	NMIJ (日本)	日本	1903年12月23日中央度量衡器検定所として創立。2001年(独)産業技術総合研究所発足時に物理、電気、化学等全分野の計量計測を統合した計量標準総合センター(National Metrology Institute of Japan; NMIJ)として再編成	262名	249名		37億円 (交付金+委託費、人件費含まず)	1.5億円 (但し、法定計量が4千万)	3,724件 (但し、法定計量関連3,060件)	214個 (JCSSへの寄与は含まない)
2	NIST (アメリカ)	アメリカ	世界最大の標準研究機関であり、基礎科学・先端計測にも高いポテンシャルを有する。(1990年以降、ノーベル物理学受賞 3名)	3,200名	博士1,500名、修士650名、学士650名	150名(学位なし)	858百万ドル (約950億円)	44.6百万ドル (校正、標準物質、認定)約50億円)	3,200件(校正および試験)	35,000個
3	NPL (イギリス)	イギリス	1900年に設立された、世界で有数の標準研究機関である。GOCO(政府所有民間管理)方式で運営されている。英国の産業基盤を支える国家計量システム(NMS)の中核機関。	450名			58.4百万ポンド (約117億円)	4.5百万ポンド (約9億円)	6,000件(校正および標準物質)	
4	LGC (イギリス)	英国	150年前に政府化学者のラボとして創立され、1996年に民営化された化学系分析機関。2001年に関連企業を吸収し、欧州最大級の標準物質のサプライヤーになった。	780名						5500個
5	PTB (ドイツ)	ドイツ	1887年に創立された国家物理技術研究所で、欧州での最大の計量研究所。	1,500名	687名	500名	1億3,000万ユーロ(約182億円)	8.63百万ユーロ(約12億円)	7,000件	
6	BAM (ドイツ)	ドイツ	国立材料科学試験局として、化学と材料に関する技術研究を行っている。最近では安全と信頼性分野にも重点化している。標準物質を供給している。	1,629名						
7	NMI-VSL (オランダ)	オランダ	民営化された国家計量機関(1989)。欧州規格制定にも活躍。	100名	80名	20名	14百万ユーロ (約20億円)		4,000件(校正および標準物質)	
8	KRISS (韓国)	韓国	1975年に法律に基づき、韓国標準研究所として設立。	346名	264名	68名	86.7百万USD (約95億円)	6百万USD (約7億円)	25,113件 (試験と校正)	3761個
9	MSL (ニュージーランド)	ニュージーランド	1992年に計量標準法に基づいて設立された政府機関。それまでは政府内の1部署	31名	23名	8名	4.3百万USD (約5億円)	0.4百万USD (約5,000万円)		

現在、年度、数字を含めて調査中

NMIJについてはH16年度の数字